

人にやさしいまちを目指して
～平成 26 年度 早島町福祉映画会～

いのちの山河

～日本の青空Ⅱ～



大澤 豊 監督作品

出演 長谷川初範
とよた真帆

大鶴義丹
矢戸 開
永野典勝

若井なおみ
阿部百合子
小林綾子

夏原 達
山下洵一郎
浅利香津代
浜菜みやこ
田中里枝
額 三四郎

いのち に格差があってはならない

平成 27 年

1 / 31 土

開演 14:00 (開場 13:30)
(閉演 16:00)

入場無料

加藤 剛

会 場

早島町町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール (都窪郡早島町前湯 370-1)

申 込

入場整理券を発行しますので、事前に下記までお申し込みください (日曜以外開館)。
託児や介助等、鑑賞にあたり何らかの配慮が必要な方は 1/16 迄にお申し出下さい。

社会福祉法人 早島町社会福祉協議会 (事務局 TEL 086-482-3000)

<http://www.fukushiokayama.or.jp/hayashima/hayashima.htm> E-mail: hayasyakyo@vp.tiki.ne.jp

<共 催> 早島町

<協力団体> 早島いぐさ手話サークル、はやしま朗読ボランティア福来朗、早島要約筆記サークルペンしる、
ぞうさんクラブ、パソポラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、
給食ボランティア (クローバー・コスモス・スプリング・たんぼぼ・マスカット・ひまわり会・
スマイル若宮・市場撫子の会)、早島町民生児童委員協議会、早島町福祉活動員協議会、
特定非営利活動法人ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島町保護司会、早島町更生保護女性会

いのちの山河 〜日本の靑空〜

あきらめから 自信と誇りの明るい笑顔へ

長く無医村であった岩手県の山あいの沢内村



父・晟訓（加藤剛）から医者になることを期待されつつも村を離れていた深沢晟雄（長谷川初範）は、妻・ミキ（とよた真帆）と帰郷し、村の抱える「豪雪・多病・貧困」という三悪を克服しようと立ちあがる。やがて村長となった晟雄は、『生命尊重』の理念を掲げ、憲法25条※を盾に、当時は国保法違反であった老人と乳児の医療費無料化に踏み切る。

そして全国でも最悪だった乳児死亡率を、全国初の死亡率‘ゼロ’へと導く。この‘生命行政’を実現するには、晟雄と村民たちの奮闘の日々と数々のドラマがあった…。

※日本国憲法第25条1. すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。



‘行脚と対話’で いのちを守った 深沢晟雄

戦後、沢内村（現・西和賀町）に帰郷した深沢晟雄（1905～65年）は教育長時代、新しい村づくりに向けて‘行脚と対話’の姿勢で婦人会づくり、広報創刊、ナメコ栽培普及に尽力する。村長になってブルドーザー導入で豪雪を克服。61年の老人と乳児の医療費無料化で、全国の先駆け的存在となる。

「生命尊重こそが政治の基本でなければいけない。」
「住民の生命を守るために私は命を賭けよう。」

晟雄のこの政治理念を具体化した右記計画を基に沢内村の‘生命行政’は展開された！



沢内村地域包括医療実施計画の目的と目標

<1962（昭和37）年計画策定一部抜粋>

幸福追求の原動力である健康を人生のあらゆる時点で理想的に養護するため

（目標）

- すこやかに生まれる
- すこやかに育つ
- すこやかに老いる



これらの目標を実現するためには、誰でも（どんな貧乏人でも）いつでも（24時間365日生涯にわたって）学術の進歩に即応する最新・最高の包括医療サービスと、文化的な健康生活の保障を享受することが必要である。